審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名	生涯学習課美術館

会 議 名	令和 8 年度第 2 回諏訪市美術館協議会
開催日時	令和 8 年 9 月 25 日（金） 10 時 00 分 から 11 時 45 分まで
開催場所	諏訪市公民館視聴覚室
出 席 者	（出席委員）押澤利満、髙田一郎、源馬菜穂、竹森公男、藤森民雄、宮坂武芳 （敬称略） （欠席委員）早出優里、池上映子、輿石美和子、金井直（敬称略） （オブザーバー）玉本教育委員 （事務局）三輪教育長、小林教育次長、小泉生涯学習課長、濱館長、北原主査
資 料	令和 8 年度第 2 回諏訪市美術館協議会 資料

協議議題（内容）及び会議結果（要旨）

１．開会

２．教育長あいさつ

３．自己紹介

４．正副委員長選出

委員長：宮坂委員、副委員長：輿石委員

５．議事

⑴ 美術館資料寄贈審議会委員の選出

選出委員：金井委員、源馬委員、竹森委員、藤森委員、宮坂委員

＜主要な意見＞

・寄贈受け入れについての内規が不完全であり、使われている文言や用語、定義について、美術館条例・規則との整合性や説明が必要。

⑵ 第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和 9 年度の事業構築に向けて（意見交換）

＜主要な意見＞

・①収蔵作品展案で、テーマに沿って収蔵作品を展示するというのはインパクトが弱いが、テーマ選びに知恵を絞り、人を呼べる、良い展覧会だったと言ってもらえるものを是非やってほしい。

・展覧会全体の方向性「美術館に親しみを持ってもらうために、引き続き収蔵作品を中心に紹介する」とあるが、あまり結びつかない。しかし⑥特別展案の教職員の方々とのコラボはフレッシュな感じを受けた。学校連携展のように、子どもが大人になった時、絵を観たり美術館に行くことに親しみを持てるような、種をまく活動としても機能するのではないか。

・学校連携展は、様々な学校が参加しやすいよう、学校をサポートするような体制を取れると良い。

・教育普及事業に力を入れ努力している点はとても良いが、文化的な財産の大切さを見せ伝えていく場として、展示や企画面を良くしていく努力もお願いしたい。

⑶ 美術館観覧料の改定について（意見聴取）

（非公開）

６．その他

事務局から報告：諏訪市推せんみやげ品審査会委員に源馬委員を推薦。

７．閉会